

# 日本健康心理学会メールマガジン No.19



2014年2月21日 第19号

## Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラムvol.15 川崎医療福祉大学 福岡欣治先生

### 1) 学会からのお知らせ <http://jahp.wdc-jp.com/>

■日本健康心理学会第27回沖縄大会 ～南の美(ちゅ)ら島から日本・アジアへ～

日程:2014年11月1日(土)2日(日)

会場:沖縄科学技術大学院大学(OIST)

大会長のメッセージ 北の大地から南の島へ!

平成26年度日本健康心理学会は、南の島おきなわでの開催です。本大会が、アジア・太平洋地域の軍事の要石(キーストーン)としての沖縄から、「平和・健康・長寿」の要石(キーストーン)として発信していける機会になればと考えます。多くの会員のご参加をお待ちしています!!(大会長 金城 昇)

■日本心理医療諸学会連合第27回大会のお知らせ

メインテーマ:メンタルヘルスを支えるポジティブ・サイコロジ

場所:日本大学文理学部百周年記念館

日程:2014年9月7日(日)

主催:日本心理医療諸学会連合(UPM)

大会長:竹中晃二(早稲田大学人間科学学術院, 日本健康心理学会)

■研修委員会より

健康心理学研修会89・90回は3月15日と29日の2回です。お見逃しなく。

会場:いずれも桜美林大学四谷キャンパス

詳しくは:<http://jahp.wdc-jp.com/kensyu/kensyu2.html>

■国際委員会より

◆第28回ヨーロッパ健康心理学会 ヤングヘルスサイコロジスト賞◆

日本健康心理学会に所属する若手研究者の国際活動促進の一環として、第28回ヨーロッパ健康心理学会での発表を表彰することになりました。応募期間は2月1日から2月28日までです。奮ってご応募ください。応募方法などの詳細:[http://jahp.wdc-jp.com/pdf/YHPA\\_EHP.pdf](http://jahp.wdc-jp.com/pdf/YHPA_EHP.pdf)

学会詳細は:<http://www.ehps2014.com/>

◆研修会のお知らせ◆

講演:"Resources for Positive Aging in a Changing Social Context: the German Experience"

講師:Dr. Catrinel Craciun(ベルリン自由大学)

司会:長田久雄(日本健康心理学会理事・桜美林大学老年学研究科教授)

日時:2014年3月17日(月)16:00~18:30(※開場15:30)

場所:桜美林大学四谷キャンパス(JR四ツ谷駅徒歩3分)

<http://www.obirin.ac.jp/access/yotsuya/>

7f1296000001q9j8-att/campus\_mau\_yotsuya\_2.pdf

<http://www.obirin.ac.jp/access/yotsuya/>

その他:講演は英語で実施します。講演後、講師の先生と交流する時間を設けます。

高齢者心理や質的研究にご関心のある皆様のご来場をお待ちしております。

参加・受付:自由参加(非会員も参加可能), 事前受付不要

問合せ先:清水安夫(国際基督教大学) [syasuo@icu.ac.jp](mailto:syasuo@icu.ac.jp)

### 2) 健康心理学コラムvol.15

「惨事ストレス研究」(川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 福岡 欣治 先生)

2011年3月11日から、間もなく3年が過ぎようとしています。東日本大震災による被害を受けられた方々、この震災にかかわる活動に従事して来られた方々のご苦労は、軽々には到底言い表せないものだと思います。その認識を前提にしつつ、「惨事ストレス」について述べさせていただきます。

惨事ストレス(Critical Incident Stress)とは、地震や水害などの自然災害、交通事故や火災あるいは戦争などの人為的災害、暴力・虐待やレイプなどの暴力的行為など、「通常の対処行動機制がうまく働かないような問題や脅威(惨事)に直面した人か、惨事の様子を見聞きした人に起こるストレス反応」(参考文献1, p.3)と定義されています。

かつて惨事ストレス研究は、消防職員など職業的な災害救援者について行われてきました。しかし、惨事の影響を受ける人の範囲は広く、職務の一部に救援を含む医療関係者や、職業とは別に救援に携わる消防団員や災害ボランティア、さらには警察や自衛隊、また取材・報道関係の方々における問題等にも、最近では目が向けられてきています。

東日本大震災の後、何度かマスコミでも取り上げられた「惨事ストレス」という言葉。最近では表だって聞かれませんが、その理解や対策はこれからも重要であり続けると思います被災者・被害者やそのご家族の方々に対する適切な対応のためにも、大切なものだからです。本学会の皆さまにも、ご注目をいただければ幸いです。

参考文献

1) 松井豊編著『惨事ストレスへのケア』ブレーン出版(2009年におうふうより再版)

2) 加藤寛『消防士を救え!: 災害救援者のための惨事ストレス対策講座』東京法令出版

3) 報道人ストレス研究会編『ジャーナリストの惨事ストレス』現代人文社

4) 特集「災害支援者における惨事ストレス対策」産業精神保健, 21巻1号

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更については下記アドレスまで。

日本健康心理学会事務局 <[jahp-post@bunken.co.jp](mailto:jahp-post@bunken.co.jp)>

メールマガジンへのご意見・ご感想については下記アドレスまで。広報委員会 <[jahp-ML@bunken.co.jp](mailto:jahp-ML@bunken.co.jp)>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます  
<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>